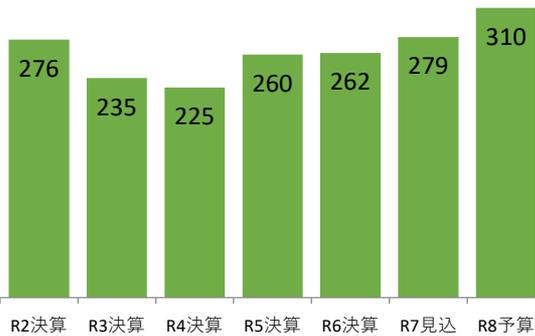


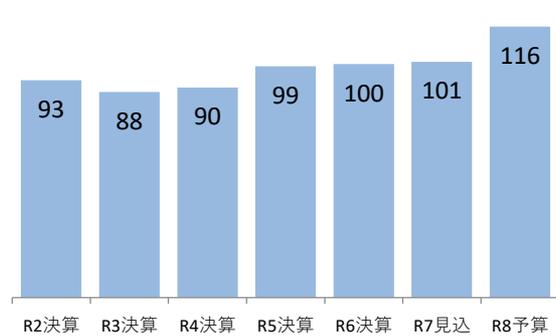
令和7年度決算見込みと令和8年度予算について

1日当たり入院患者数（人）



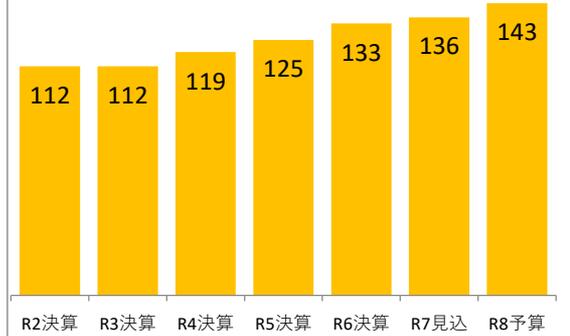
R6血管外科を新設、R7整形外科病棟を再開したものの、他診療科で回復鈍く厳しい状況。稼働率を高めるため、許可病床481床→365床と116床削減。R8予算では稼働率を85%と見込み、310人とした。

医業収益（税込み）（億円）



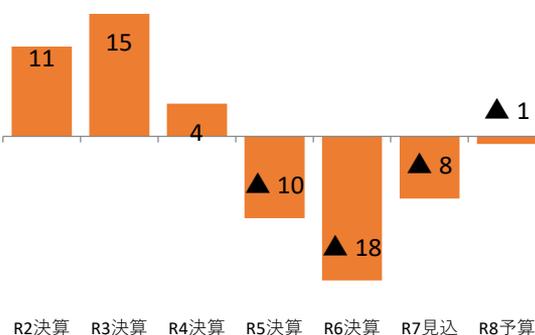
入院患者数と同様に血管外科新設、整形外科病棟再開でも横ばいの状況。R8予算では患者数増加に向けた取組の強化、診療報酬の改定による増収も踏まえ、116億円とした。

医業費用（税込み）（億円）



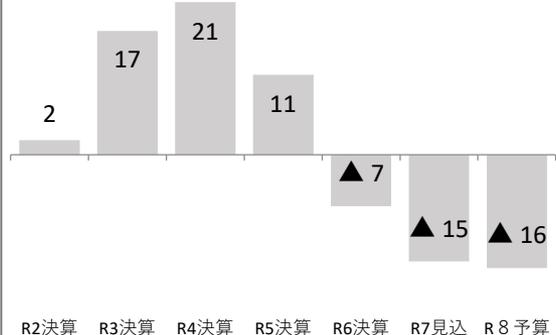
人事院勧告による人件費の増、委託料など労務単価の増等で医業費用は急激に増加。R8予算では、1病棟削減による職員減で費用を抑制したものの、ベースアップによる増が減少分を上回り143億円となった。

単年度資金収支（億円）



R2からR4まではコロナ補助金により黒字。一方でR5以降はコロナ補助の減に加え、患者数の減、費用の増により大幅な赤字。R7、R8は臨時的な企業債の借入・補助金交付により、一時的に赤字幅を圧縮。

資金残高（億円）



R2からR4のコロナ補助金で増加した資金残高はR6でマイナスに。1病棟削減などによる経営改善推進のための臨時的な企業債の借入などによりR7からR8にかけてはほぼ横ばいとなるよう想定。

【R7からR8までの経営改善の取組（予定）】

収支改善の取組

- 1病棟116床の削減で正職員16名削減（R8 △1.3億円）
- 救急搬送件数の増加、紹介件数の増加、健康診断件数の増加などによる入院患者増
- 医療機器保守等の委託料削減
- 会計年度任用職員の削減

資金手当の取組

- 経営改善に取り組む公立病院への資金繰り支援のための企業債（経営改善推進事業）の確保
21億2,800万円借入可能（R7 10億 R8 5億 R9 6.28億）
- 賃上げ・物価高騰支援補助 R8 1.8億円
- 病床数削減補助 R8 2.9億円